

まちづくり 問 都市整備課 ☎45-8128 FAX43-2945

SHIMOTSUMA DESIGN MEETING vol.2 開催

10月3日、7月の第1回目続き、「SHIMOTSUMA DESIGN MEETING vol.2」が開催されました。今回は、約30人が参加し、3つのグループに分かれて砂沼周辺などを街歩きしながら、市内の現状を肌で感じて街の可能性を探りました。



プレゼンテーションをクロストークで深掘りする参加者とゲスト講師

Waiwaiドームしもつまで行われたプレゼンテーションでは、教育、環境、農、食、健康などの面から活発な討論が行われました。

親子で参加した江戸川大生の栗原^{くりはら}彰^{あきら}さんは「砂沼の周りに有効活用できるものは多いと感じました。今後、どう変えていくかが大切だと感じました」と話していました。また、同じく参加した小山工業高等専門学校生のアバロス^{あばろす}隆^{たけし}司^しさんは、「サンビーチの一部など、ハード面でもっといいと思えるものがありました。地域ごとにそれぞれ課題があることが分かりました」と話していました。

市民協働のまちづくり 問 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

自治会と行政が協働する「市民が主役のまちづくり」へ ～令和2年度市長との対話集会～

区長と市長が、地域の要望や身近な課題についての共通理解や意見交換を行う対話集会を開催しました。各中学校区を単位に10月8日・リフレこかい(やすらぎの里しもつま)、10月10日・市役所第二庁舎、10月17日・大宝公民館の3会場で、45人の代表区長が参加しました。

今年度の対話集会は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を代表区長に限定。ソーシャルディスタンスを保つため、会場内の配置などを工夫しました。

はじめに、菊池市長が広域連携バスの運行、砂沼サンビーチ跡地問題や新型コロナウイルス対策関連としての支援策などについて、最新の市の取り組みを説明。続いて、区長と市長とのフリートーク形式の意見交換では、身近な道路整備や空き地の管理、防災無線のデジタル化、河川の防災、高齢化の諸問題など、多岐にわたる意見や要望が出されました。これらの意見や要望は、関係部署で情報共有を図り、実施可能なものは速やかに対応するとともに、今後の市政運営の参考にします。

今後も、多様な視点や価値観を幅広く施策に反映するため、さまざまな場での意見交換を行い、「市民が主役のまちづくり」を進めていきます。



市長に質問する代表区長(下妻中学校区)



市の施策を説明する市長(東部中学校区)

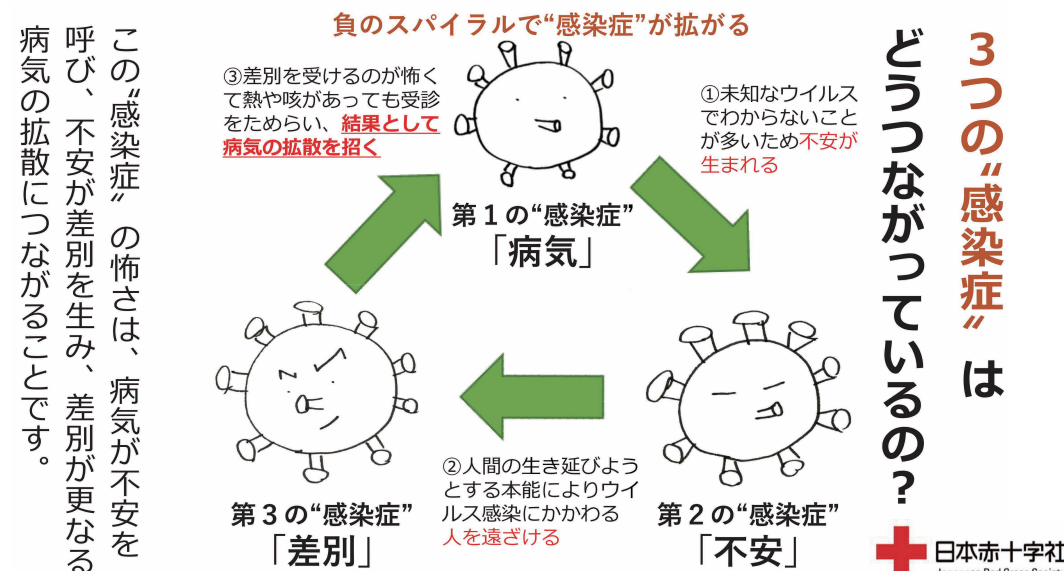


要望を伝える代表区長(千代川中学校区)

STOP!コロナ差別 問 福祉課 ☎43-8246 FAX43-6750

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう ～負のスパイラルを断ち切るために～

新型コロナウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔があることです。
知らず知らずのうちに私たちも影響を受けていることをみなさんはご存知ですか？



それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう!

公共交通 問 企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

筑西下妻広域連携バス(下妻駅⇄川島駅)の実証運行開始



下妻駅でのテープカットの様子(左から関鉄パープルバス株長津社長、田中下妻市議会議長、菊池市長、須藤筑西市市長、仁平筑西市議会議長)



広域連携バスの車輦(下妻駅)

10月1日、関東鉄道常総線・下妻駅からJR水戸線・川島駅までを走る筑西下妻広域連携バスの実証運行が開始となりました。初日は、川島駅と下妻駅で出発式が行われ、菊池市長、須藤筑西市市長をはじめ関係者が市民の交流や地域の活性化を期待し、安全運行を祈りました。

バスの運賃は一律200円(障害者、小学生は半額)。上り下りで1日各6便運行されます。今後、両市民の身近な交通手段として運行していきます。



広域連携バス時刻表

有料広告欄

有料広告欄